

# CVカテーテルのトラブルと

## 固定・保護に関する実態調査

2017年12月10日

「[輝く子どもたち](#)」山崎仁美

「CVカテーテル使用中に役立ったことやカバーに求める条件など」の自由記入項目及び、各設問の「その他」に入力された回答をカテゴリーに分類した。

### CVカテーテルカバーに求める条件などの要望

#### 形

1. 寝ているときに気にならない。衣服の外から見えない・わからない(形とかも)
2. カテーテルにテンションがかからないように首から吊るすのは必須。さらにあまり出っ張っていると服の脱ぎ着で引っ掛けるトラブルの元。
3. 当時はカテーテルが長かったので収納袋が便利だった。ただ中学生とかになったら嫌がったかもしれないと思う。
4. 患者が小さいと、首からぶら下げるだけでは袋が動いて不安になると思います。胴体でも固定できるとカテが抜けるリスクが減ると思われます。(当方は巾着袋に更に平紐を2本縫い付け、両脇の下から背中に渡して結び、袋を首と胴体で固定していました)
5. 首に紐で巻くのは怖いです
6. 薄い腹巻のようなもので固定できると嬉しかったです。特にカバーは使用していなかったもので、毎日のようにテープを貼り変えていました。親が付きっ切りだったので特にトラブルなかったですが、離れているうちに引っかかって抜ける場合があります。
7. ズレたり、引っ張られたりしないものが良い。身体にしっかり固定できるもの。皮膚トラブル防止より抜去事故が起きないことの方が大事。
8. 娘の胸部にCVが挿入されていました。うつ伏せに寝ることが多く、痕がついてかゆがることも多く、手作りしました。開閉しやすいこと、かさばらないこと、ルート使用中でもそうでなくてもそのまま使える形であることを考慮しました。
9. 手作りのカバーは紐の引っ掛かりが怖くて、スナップを仕様しました。可愛らしくて使い捨てのものがあれば楽だと思います。
10. 洋服の上からモコツとなりすぎない、開封しやすいものがいい
11. 袋に入れてあるほうが、テープ固定より肌にもいいし引っかかる事がないので安心でした。
12. カバーを使うなら清潔であること(毎日交換)。カテが動いてしまう範囲がなるべく少ないこと。「テガダームCHG」が肌に合う子には高価だけれども病院から提供して欲しい。本当に良いテープ。
- 13.引っ張ったり、引っかかっても、すぐには抜けない構造のカバーが出来れば良いと思います。ステロイドによるストレスで、引っこ抜こうとされた時は、ドキドキしました。
14. しっかり固定できて、着脱しやすいこと。(胸帯を使っていましたが、小さな円形のマジックテープで留めるようにしたら、便利でした)。蒸れたりしないこと(病棟は暖かいので)

15. 使っていないカテーテルが落ちてこないような作りじゃないと困りますね。
16. なるべくコンパクトにして、服の上からではあまり目立たないようにした。紐の結び目はカバー下部にして首もともスッキリさせた。
17. 普段から良く動くため、カテーテル保護にカバーはなくてはならないと感じています
18. 要望とすれば首からさげるタイプを使用していますがブラブラするせいか挿入部分を保護するテープな下部分がはがれることが多々あります。外泊時など普段着で体にフィットする洋服を着るとカバー部分がポコッと出てしまうのも気になるところです。ブラブラしないよう（体にもフィットして保護できる）腹巻きを折り返し保護したこともありましたが、汗をかくため断念しました。”
19. 一本のルートを固定するカバーだったので、移植用の3本ルートが付いていた子供にはちょっと小さすぎてカバーがいつもパンパンだった。余裕があるものがあればいいなと思っていました。
20. 服の裏に貼り付けたりしたので、ホックや移動ポケットのようにワンタッチで固定できるカバーがあればな、とおもっていました
21. カテーテルが抜けないように体に固定できるようにしたい
22. 服を着ていて目立たない

## 素材

1. カバーがキルティングの方が身体に触れても大丈夫で、カバーの中はルートをガーゼでまとめてもらったり工夫していたと思います
2. 胸の CV カテーテル（腕のタイプは、時期的に、治療内容的に、短い期間しか使用してないので、記憶があまり残っていません）を初発、再発時に利用。3才前、小学校就学前の年齢。首から下げるタイプを作成。重みで肩がこらないよう、肌トラブルにならないよう、下げるヒモ部分は、柔らかい包帯を利用。巾着表は、子どもが喜ぶプリントで作成。肌にあたる部分は、ガーゼ生地を利用。下と向いた時などに、中身が出てこないよう、巾着の口は、マジックテープやスナップボタンで閉じれるようにしました。洗濯して、乾きやすい素材を選び、数枚作成。洗濯時用に、数枚必要です。骨髄移植時は、カテーテルが太く、収納サイズも大きくなり、使用前のアイロン消毒もしやすい生地で、大きめに作り直しました。一番最初は、情報がなく、でも小さな子どもが点滴棒を持って走り回るので、子どもの靴下に CV カテーテルを入れて、包帯をもらって即席で作りました。付添中は、買い物にも行けないので、とても困りました。必要になった時に、大事なカテーテルをしまっておく、子どももちょっとワクワクするような可愛い生地で、なおかつ選ばせてあげられたらいいと思います。治療中は、肌が弱くなるので、肌に刺激のない優しい生地が良いと思います。
3. ガーゼ素材とか肌に優しいくて良い
4. 肌に優しい素材
5. 直接肌にあたるので、ガーゼやネル素材などの柔らかい生地で乾きやすいもの。女の子は特にお気に入りの色などで。
6. 小さな子供が CV を使用していた為、簡単に抜けない事、そして衛生面、肌に優しい素材。
7. とにかく柔らかい生地が良かったです。タオル地で手縫いで作りましたがよくほどけたので、ほどけにくい紐か、マジックテープで固定するような紐だったら良かった。乾きやすい生地ならなお良いかと。
8. カバーは誰もが使いやすいもの。親が使っても看護師が使えないと意味がない（転院した際に前の病院のカバーを今の病院の看護師が使いこなせず逆に危険を伴う状況になったことがある）。素材は綿かガーゼが良いと思う。首から下げる場合は多少伸縮性のある紐（アクリルコードのようなもの）が良いと思う。
9. 洗濯できること。基本髪がないので首にかけるひもも肌に優しい。痛くない素材
10. 病室で手洗いしていたので、乾きやすい素材がいいと思います。

11. テープを貼り付ける際にあらかじめ皮膚保護剤を塗布することで、皮膚トラブルの減少になった。はがす際もストマ剥離用の剥離材を使用して、皮膚へのダメージを防げたこと。カバーは常に清潔にできる素材か、洗えるものだと良いと思う。身体に当たって痛くない素材、なるべく綿など自然の素材だと皮膚に優しいと思う。
12. 使い捨てマスクのように、使い捨てできる素材だといいなと思います。感染のリスクはできるだけ減らしたいので
13. カテーテルを固定する首に貼るテープが途中からとてかゆくなってくる。皮膚が弱っている上に貼られるため非常に辛い。肌に優しいものにしてほしい。
14. 感染を起さず、安全にカテーテルが維持でき、お風呂に入っても大丈夫なこと。
15. 外泊時は、大変気を使いました。そのまま幼稚園へ行ったので、普段と違うことに気を取られたり、動きも激しくなるため、CVを触ったり、何かの拍子で抜けてしまったらという不安、服の盛り上がりを見て、他の子どもたちからかわれたり、触られたりするのではないかという不安もありました。テープで止めると、剥がすときにカテーテルがくっついて抜けてしまうのではないかという不安もありました。こういうカバーがあるのは良いですね。抗菌素材で、なるべくコンパクトに出来ると良いと思います。
16. 化学療法中は皮膚も敏感になっており、首にかけているひもの部分も擦れてかゆくなったり色素沈着したりしました。カテーテルを入れる胸に触れる部分はもちろん、ひも部分も低刺激な素材が必要かと思えます。
17. カバーには子供が見て喜ぶようなキャラクターや、肌に優しい布を使用して欲しいです。
18. CVがある事で、なんの痛みもなく採血などの検査や、輸血出来るのは本当にありがたい。
19. カバーは、とにかく肌に優しく軽量である事で、子供が喜んで付けてくれる柄である事が大事だと思います。
20. 移植の為、とても強い抗がん剤や放射線治療で お肌のトラブルがあったので、綿 100%・ハンドタオルで作った CV ケースを使用していました。
21. テープかぶれが起きやすかったので、肌にデュオアクティブを貼って保護していましたが、効果ありました。・カテーテルカバーよりも新品の滅菌ガーゼの方が衛生的な気がします。家族の負担を減らすためにも、カテーテルカバーを強制するより、滅菌ガーゼでの保護にいただいた方がいように感じました。
22. 本人が引っ張りづらいことが一番。親も着替えの時などカバーがあるほうが扱いやすい。準備期間がなかったので布とヒモとマジックテープで作成したが、マジックテープよりも静かに開閉できる仕組みの方が、朝の採血時に起こさないかとヒヤヒヤしなくてすんだと思う。
23. とても肌が敏感になっていて、下着の縫い目やタグが皮膚に当たるとかぶれたりしていたので、肌に優しい素材の物もあると良いのではと思います。

## 取扱い

1. 先生方や看護師さんがいかにスムーズに処置ができるか、出し入れに手こずらないようにしたかったです。
2. 洗濯が簡単でへたりにくいものが良い。骨髄移植後は肌が過敏になるので、縫い目や袋の端が刺激しないもの、綿で出来た物が良いです。状態や治療進行により、腕のカテから首のカテに変わったりすることもあるため、付属の紐を付け替える等すればどちらにも使えれば助かります。治療変更時にすぐに買い物に行けなかったり、家族が遠方で患児から離れられないと、新しいカバーの用意がかなり負担になります。洗い代えで何枚も用意が必要になりますし…
3. 清潔でお手入れが楽なものがいいです
4. とにかく清潔であることが一番だと思います。治療中は本人はもちろん家族も毎日洗濯したものを着用するよう指示されていたので、カテーテルケースも洗い替えがたくさん必要になるのではないでし

ようか。そのためにはあまり高価なものではなく、洗濯に耐え得る丈夫なものが一番ではないでしょうか。

5. 安全で、抜けにくいもの。洗えるもの。
6. 簡単に使えてコンパクトなものがいいですね。

## 値段

1. ボランティアの方が使いやすいものを3つも作ってくださったので、条件は思い付きません。手術直後に看護師さんから作って下さいと言われたときは、びっくりしました。そんな心境ではなかったし、材料もなかったので。お金をだしても買えるほうが良いとおもいます。あまり高いと困りますが。
2. とにかく安全なものが良いです。
3. 病院で用意してくれると嬉しい

## 条件

1. 長さ調節ができること。子供の望むデザイン。肌触りの優しいこと。
2. カバーに求める条件・安価・肌に優しい・病院の売場ですぐに購入できること
3. カバーに求める条件・衛生的 ・丈夫さ(何度も洗濯&乾燥機をかけるため)・コンパクトである・デザイン性(子供たちがデザインを好んで、身に付けて気分が上がるものがよい)・低コスト(洗い替えが必要、消耗品のため)・肌に優しい・個々のサイズに合わせられること・使いやすさ(ルートを固定したり、または取り外しが簡単にできる)
4. 求める条件は①子供がまだ小さく点滴があっても制止を振り切って走ってしまうので、ルートを引っ張ってもその力をカバーが受け止めて、刺入部に負担がかからない(抜けない)こと。②プラグなどの硬い部分が身体に当たらないこと。③ルートをつなぐ時など、必要な時に短時間で取り出せてしまえること。(子供がじっとしないので、紐で結ぶのは時間がかかり使いにくい)
5. 年齢により 工夫が異なると思います
6. 引き抜きや引っ張りを防ぐ
7. 汚れやを防ぐ(防水)

## デザイン

1. 可愛いのが欲しい(女の子だったので)
2. ディズニーの布でカバーを作ってもらいましたが、可愛いので付ける時はテンションが上がりました。
3. 可愛い袋に入れることで、患児本人のメンタル的にも効果があったと感じています

## 情報

1. その子に合ったタイプがあると思うので、いくつかのタイプを作って頂きたい。また、そういった情報が分かりやすく表記されている冊子があると便利だと思う。

### CVカテーテルの固定方法

1. スタイは傷口が隠れるようにするので、傷口をかきむしったり CV 自体に触れたりする事がないので小さい子供には、すごく重宝しました
2. 役立ったのは百均のスマホ袋でした。ルート部分しまう大きさも丁度よく紐を横に縛って長さ調節だけなので裁縫が苦手でもできました。
3. 病院で使用しているカバーを見て、作り方も紙を渡され見よう見まねで作りました。作った物が、キンタローのエプロンタイプで難しかったです。市販で購入出来るとありがたいと強く思いました
4. くるっと巻いてスナップボタンで止めていただけなので、点滴をしていないときは良く落として何度も交換する事があった。
5. 腕に着けていました。カバーは 100 均の赤ちゃん用フットウォーマーを使っていました。素材がゴワゴワしていたので痒がりました。それ以外は問題なしでした。
6. 新生児用のミトンや、イスのアシカバーに紐を縫い付けて使っていました。金額的にもお安くすみしました。
7. 私の子どもは腕から入れていたので、包帯で包んで固定していました。入浴時、毎回ビニール袋を切ってビニールテープで固定していました。入浴時に簡単に防水出来る物があればなあと思います。
8. 投薬していないときは指サック型の包帯をキャップのようにして先端からプラグの部分にかぶせています。入浴のときの保護シートは、より肌に優しいプレスロールにし、剥がすときの肌ストレス軽減のため、リムーバー使用を徹底させています。
9. 本人が触るので腹巻きで覆ってみましたが、腹巻きがめくれたり、回ったりするときにカテーテルももってかれることがあり、困りました。
10. 最初の入院時には指定の物も、カバー自体の使用がなく、服にテープでルートを貼り付けるなどしていました。我が子はそんなに激しくないのですが、やんちゃな子は抜けたり破損したりしていて大変そうでした。2度目の入院の病院は、指定の前掛けがありました。自作が必要だったので大変でしたが、完成するまでは病院の物を借りられ、また使用によりカテーテルがより固定されているような気がして安心感もありました。前掛けになっているので、挿入部と洋服の間に一枚布が入るような状態になり、挿入部のトラブルもなく過ごせました。
11. 長い管が邪魔なので、ポシエットに束ねて入れていました。突っ込んでいる感じです。最初は、看護師さんが、本当に適当にザクザク縫った感じで作ってくれました。それを真似して、実家の母に作って欲しいとお願いして、2枚作ってもらいました。看護師さんが作ってくれたのと3枚を洗い替えしながら8か月の入院で使いました。胸に刺している部分は、テープ止めしていますが、はがす時にアルコールで溶かしながらはがして行きますが、やっぱり赤くなり、ひりひりして、かわいそうでした。そのガーゼに子どもの大好きなサッカーボールの絵を描いてくれたお医者さんがいて、助かった事があります。ポシエットはしたまま寝て、長い管が絡まらないようにしていましたが、軽くてフワフワの生地探しが結構難しかったです。スムーズ素材、ニット素材は縫いにくいですね。肌に柔らかい素材がいいので、可愛い生地は諦めて、単純に白で作成しました。肩ベルトの幅は広めにすると、肩が痛くなくていいです。
12. 私は、子供が着けたくなるようなかわいい柄、肌に優しいガーゼ生地で作りました。付き添いしながら本当に大変な思いで作ったので、頑張ってください！
13. 我が子は皮膚炎に至ることはなかったので、テープで固定してもらうことが一番安全であったと思います。カテーテルカバーは使用しませんでした。あつたとしても、首にかけることを嫌がったように思います。
14. カバーのイメージがつかないのでよくわかりませんが、トラブルが起こらないように治療に専念できる体制になる事は良いと思います。
15. コップの巾着袋で代用し、首からぶら下げられるようなもので十分でした。
16. CVカバーを作るように病院から言われ手作りしたものを使用した



17. ハンドメイドの首から下げるタイプのカテーテルケースで保護していました。
18. 自作の CV ケースを使用
19. スタイを加工したカバーを使用(マジックテープをつけて自作)
20. 収納した巾着を首からぶら下げる
21. 親が作った手作りの袋に収納
22. 病院指定の自作前掛けのポケットに収納
23. 自作の点滴エプロンで固定。
24. 特製ベストを作った
25. 医師によりテープ固定を施された状態で、ルートカテーテルの余分な長さは病院支給の首から下げるタイプの布製の保護ケースに収納していました。入院機関は三重大学附属病院です。ケースは元々大阪の母子周産期病院から転院してきた患者さんの使用していたものを改良して作ったそうです。
26. ガーゼで巻く
27. ガーゼで包む
28. ガーゼで巻いてテープで留めて、上からネットを被せただけ
29. パーミロール（防水テープ）とビニール袋（4号）を使用して固定
30. 腕から入れていたのでラップとネットで保護
31. 医療用ガーゼでくるんで胸にテープ固定
32. 医療用筒状包帯
33. 包帯を巻いてからテープで固定し、ネットをつける
34. 肌着に切れ込みを入れ、切れ込みから、肌着の外側にルートを出した上で、ベビー服の裏側にテープで貼り付けて固定（肌に直接テープをはったことで、肌荒れの症状がでたため）
35. 病衣にテープで固定
36. 固定テープがはずれてブラブラし、本人がイライラしていた
37. 刺入部は縫合、その上から保護テープ、そしてルートがありましたが、ロックの際などはぶら下がる状態になるので、テープがはがれないようにするため、そして点滴のルートをつなぐ接続部の保護になる
38. カバー使用しませんでした 生後6ヶ月～1才2ヶ月まで挿入していました 自己抜去防止のため服に手が入らないようエプロンをしていました 首背中縛るタイプの

#### CV カテーテルカバーを作ったよ（工夫）

1. キルトで作って首から下げるようにしました。
2. 首から下げるカバー袋を作ったのですが、動き回っているとカテーテルが抜けそうになり、挿入口から血が度々でていた。
3. カバーをつけたことで子供の不安が軽減されました。病院で手縫いしたので上手に作れませんでした。病院で洗濯機、乾燥をかけるのでしわになったり縮んだりしました。私はダブルガーゼや綿で作りました。うちの場合は縦長にするとズボンのウエストあたりにくるのが嫌だったらしく、横向きにしました。試行錯誤しながら三枚作りました。入院したばかりで不安の中、制作しなければいけないので保護カバーが売っていると本当に助かると思います。
4. 入院時期が冬から夏にかけてだったので、冬用は肌が荒れないように使っていないカシミヤのマフラーを使って作りました。夏用はサラッとした生地を使いました。病院で見せられたサンプルがひもで固定するものだったので、毎回ひもを結ぶのは面倒だと思ったのでマジックテープを使いました。

5. ハンドタオルでルートを包んで巾着を使用していました。ハンドタオルをかわいくすると患児も喜んでくれました。
6. はじめは胸帯を使用していたが、結局テープを直接身体に留めたり、使っていない時のルートを入れておくと、楽しく遊んでいるときに出てきちゃったりと、不便なことが多かった。色々考え、ベストの内側にポケットを作り、そこに使用していない時の CV や、ルートがつながっているときは、そこにしまってから服の外に出すようにしたところ、テープを身体に貼り付けることがなくなった。
7. 乳児だったので引き抜きは無かったのですが寝返りを始めるとねじれや絡まりで閉塞が頻繁で通るまでは入れ直しかと不安でした。絡まりはズボンの下から管を出し、足首にボタンで簡単に止められるベルトをガーゼで作る（足首側と管側と 8 の字のような感じ）とかなり軽減されました。ただねじれは解消せず採血の引きが悪い時など看護師さんにまたねじれてると思いますと毎回言っていました。
8. 娘の入院した医療施設では、医療用筒状包帯を使用していました。医療用の物を使い捨てで使用して頂けたので、衛生面でも安心できました。腕の CV でしたので、カテーテル部分を筒状包帯で包み、新たな筒状包帯で腕と包んだカテーテル部分をアームカバーのように付けていました。（上手く、伝わるでしょうか？）夏場は蒸れる事もありましたが、そういうときは腕とカテーテル部分につけるものを筒状のネットへ変更もしてくれました。又、胸の CV の子もやはりカテーテル部分を筒状包帯で包んでいました。一つの病院でしか治療を受けていなかったため、このやり方が当たり前だと思っておりましたが、医療機関によっていろいろなのですね。このような方法もあるということをお伝えたく記入させていただきました。
9. 既存のコップ袋を利用した

#### CV カテーテルカバーを使ってみて

1. ルートの保護という事では役に立ちました。うちの子が使用したカバーは、捨てずに保管していましたが、友人の子が病気で使用する際に、病院は違いましたが、使う事ができました。何度も洗濯して使用できるという面では良かったと思います
2. 子供は入院中病院という、狭い世界の中で生活しなくてははいけません。食べ物や行動範囲などいろんなことに気をつけて生活しなくてはいけなくて、ただでさえストレスのある生活のなかで CV にも気を使って生活しなくてははいけません。うちは、9 歳の時に首から CV が入っていていつも首からぶら下げるタイプの布をつかっていました。看護師さんたちが、作ってくれました。洗い替えもいるし、製品化すれば本当に助かるとおもいます。
3. 首に結ぶ紐が太いと、寝るときに痛くないか心配しました。キャラクターの可愛いカバーを作って、お洋服を着替えるように、楽しみにカバー交換をしました。マジックテープで留めるタイプにしたので、そこに埃がたまりやすかったり、肌にあたって痛がったりする事がありました。夏場は小まめに変わるので、洗い替えがたくさん必要でした。
4. 作ることは苦ではなかったので色々なタイプを作り子供が気に入ったものを使用していて、とくに不便を感じたことはなかったように思います。作るのが苦手な方には市販品があればなどは思います。
5. 子どもの好きなキャラクターの生地で巾着を作ったことで、少し気持ちが盛り上がった。
6. 二ヶ所の病院で過ごしました。カバーは手作りで準備しました。←病院からの指示で。紐を首に回してとめるタイプです。帽子にマスク、カバーの膨らみと息子は「ザ病人！みたいで嫌だ」ととても嫌がりました。なので、転院してからはつけなかったです。なによりシャワー時が大変でした。本人でも簡単に貼り付けられる防水シートみたいなものがあればいいのにと感じていました。ウチは男子なのでまだ良かったのですが、女の子は都度、看護師さんに服をめくるのはかわいそうでした。
7. 1 歳 3 ヶ月の子供のために購入し、使用して 1.5 ヶ月経ちました。徐々に歩けるようになり、点滴時にカバーから垂れ下がる線を踏むようになり、カバーをピンと引っ張ったり、気をつけてはいたものの、本人に気をつける意識は当然なく、徐々に抜けて行き、4 cm 抜けたところで再挿入の手術になりました涙 カバー装着で肌荒れは治ったものの、カテーテルとの付き合い方自体分かっていなかったため、少し反省しています。ここはカバーを勧めてくれた看護師さんも使い方を検討する必要がありましたと謝罪され、色々対策を考えてくださいました。低年齢なのである程度は仕方ないと先生も言っていたのですが、低年齢だからこそ気をつけることを先に知っておけたらな…と思いました。これからは点滴時はケースから線を上(肩)の方に出し、背中の方に回して使っていこうと思います。少し話が逸れて

ますが、体験談です。カバーについては、うろちょろするこの年齢には、首はリボン縛りでなくフープにすると使いやすく、変え紐としてついていた pasta 紐？だと、伸びるので寝転んでも付けやすいなと思いました。素敵な企画をありがとうございます。これから使う方のためにも、少しでも快適な治療生活を送れるといいなと願ってます。

8. カバーをしていた事によりプラグ部分が身体に当たらず生活しやすかった
9. うつぶせで寝るため直接肌に触れ痛くなるのを防ぐ
10. ルートのとがっている部分が肌にあたらないようにできた

## 病院の対応

1. 入院している病院が、「当たり前」にカテーテルカバーを推奨していて、先生も看護師さんも扱いに慣れていて、むしろしてない状態だと「してくださいね」と言われる状況だった。そういう存在なのであれば、病院の薬局に売っていて欲しかった。
2. 我が家は、病院から「これと同じものを作成してください。」と言われ、指示通り 5~6 組作成しました。条件などはありませんでした。
3. CV を入れる前日に担当看護師さんが手作りしてプレゼントしてくれた。
4. CV 手術前日に担当看護師さんが手作りしてプレゼントしてくれた。
5. 病院が準備したガーゼを使用したため、特にありません。
6. カバーは特に指示されず病院から簡易の巾着をもらった
7. 病院側が巾着袋を用意してくれました。
8. 病院支給だったため、自分で用意する必要があったら、という仮定で回答しました。
9. 特にトラブルはなく、病院から各自で巾着を作成するようにとのことでした。

## カバーを用意する親の負担

1. CV 保護は病院によって本当に違うんですね。私は裁縫が得意なので全く負担にはならなかったのですが、その子の体型や挿入部の位置や CV 本体の形状の違いでも作るのが大変そうですね。首から掛けるなら重さや素材も首や肌に負担のかからない物にしなくてはいけないと思います。難しいですね。
2. カバーは必要ですから実費でかまわないので病院で用意してほしいです。自分でカバーを作る時間はなかったです。
3. まだ小さい子の小児がんで使用しました。カバーを作るよう病院に勧められ、私は裁縫が得意でしたので、とりあえず病院から出られないので院内の売店に売っていたハンドタオルで作ってその後、主人に子供が大好きなキャラクターがプリントされているハンドタオルを買ってきてもらい作りました。あの時は必死でしたので、何も感じませんでした。きっと裁縫が得意でない方や、代用できる適当な布がすぐに手に入らない方、協力者がいらっしゃらない方などは不便だと思います。カバーなども一緒に病院で販売できるようになると助かると思います。
4. 退院する子供のお母さんがカテーテルカバーを複数個、くれたのが助かりました。ルートが点滴とつながっている時でも、カテーテルのとがった部分（ロックする部分）は肌に当たるので、痛く、巾着袋ではない採血などもしやすいカバーがあればいいと思い、探していました。裁縫が苦手で作る時間もな



く、また作ってもずれてうまく機能しなかったので、手頃な値段で購入できればいいのにな、とずっと思っていました。できれば病院で調達できれば助かります。

5. 作成する余裕も材料を調達する術もなく、自分の母親に説明して作成してもらいました。付き添いしながら病院で作ることは心身ともに無理があると思います。
6. 自力で作る時は型紙なんかがあると非常に助かるなと思いました。
7. 実家の母に裁縫をお願いした。
8. CVカテーテルがどういうものか分からないまま制作しなければならない
9. どういった目的でどの程度の長さが良いか、大きさが良いかなど試行錯誤だったので大変だった
10. 病院から作成するよう言われたものの、完成形がわからず（見本がなく）困りました
11. 実際には使用していないが、使用に際して、自分で作らなければいけない点には躊躇を覚えました
12. 治療から、骨髄移植時でルートサイズが変わった時、大慌ての準備となった
13. ボランティアの方が作って下さって本当に助かりました。あの状況で自分で作るのはかなり無理がありますので。
14. お友達から手作りのをいただきました
15. ネットの替えを沢山買った

## CVカテーテルの使用中的入浴や困ったことなど生活・トラブル

### CVカテーテルを使用した感想

1. CVカテーテル使用中、採血が楽でした。
2. まだ小さかった事もあり、かゆくなればかきむしり、見張っておく事が困難である事。あと、治療は終わっていても、移植後の食欲不振で、輸液に頼らざるおえない為に、なかなかCVを抜去できなく、本人も輸液に頼っていたので、主治医に頼みこみ、抜去したら、食べられるようになった。
3. 確かに、濃い輸液を頼らないといけない時は、CVは効率的ですが、感染の事を考えると、やはり治療が終了したら、すぐ抜去した方がいいと感じました。”
4. とにかく CVカテーテルが挿入されていることが怖く、洋服の着替えや体位交換でさえ子供に触れることが怖かった。
5. 入院時に CVカテーテルを経験しました。24時間ずっと点滴を入れていたので、点滴をしていない時間がなく、カバー使用については分かりません。
6. 何度か入院したことがあります。CVカテーテルを使用したのは最初の入院のときだけでした。それ以外は採血や点滴で何度も針を刺したので、それがなく検査等ができるのはとても良かったと思います。異物を挿入しているということで感染症の心配は少なからずあったので、清潔な状態を確保できればいいと思います。

7. うちの子は年齢も大きかったので特に不便はありませんでした。採血や投薬など注射をしなくて済む事が本人にとってもとても助かりました。
8. 皮膚にあたる違和感

## 生活

1. 外出時に冬はマフラーなどで隠せても、夏の外出は、どうしても目立ってしまい、周りの人の視線が気になった。
2. 入院しているときは、特にかんじなかったが、カテーテルをいれながら、学校に行くのは、引っかかる恐怖と、一年生の息子は、トイレの時にしづらいということ。衛生的にもよくないこと。見た目にも、胸あたりが、かなり膨らみ本人も嫌そうでした
3. 初発の頃は幼児だったため、ブラブラしないようにテープで止めていたが、小学生で再発したとき、ルートはそのままぶら下げていた（本人も気にしてなかった）。4~5歳までは何らかの対応が必要だろうと思う。小学生になると心配いらないでしょう。病院側もそういう対応方針だったのだと思う（特に何も言われてないが）。
4. ほんとにカバーケースを知ってよかったです。子供も嫌がらず逆に見てみてと自慢するくらい！感染予防にもなるし引き抜きなど引っ掛かりもないし早くに保護カバーに出合えて感謝しています。ちなみに自分では作れないので(^\_^;)

## お風呂・入浴時に困ること

1. お風呂に入る時に濡れないようにするのが一番大変でした。保護するのが挿入部だけならいいのにと何度も思いました。
2. 何度も針を抜き差しせずすんだのは良かったです。贅沢をいえば、シャワー時の保護パッキングがもう少しやりやすいとよかったかなと思います。
3. 20年も昔のことですがお風呂に入れなかったのが一番不便な点はそこでした。今は、入浴 OK かは不明です
4. お風呂に入るときの準備が大変
5. 長期入院により外泊許可もある。入浴がより楽になると家族にとってはありがたい
6. 入浴時、毎回保護シート&テープを貼るのが手間だった。テープを剥がす時に痛がっていた。
7. シャワーに入れる時に防水テープでカバーしていましたが、剥がす時に痛がったので、簡易カバーがあれば助かるかと思えます。
8. 昨日看護師の入浴により水がはいったようなので、それを阻止したい
9. 入浴で濡れる
10. 入浴時にテープで固定していました。

## トラブル

1. CV カテーテル使用中に感染症になりました。医師より、「熱の原因は不明ですが、恐らく感染症かも知れません」とのことでしたが、余命一年と宣告を受けていましたので、命と向き合っている子どもの闘病環境下で感染症になるのは、医療者の問題なのか(衛生面)、それとも物理的な要因が感染を引き起こしたのか、誰も

分かりませんが、一言目に行った医師の言葉は「感染症になる子どもが多い」とも取れました。子どもは大人に比べて皮膚は薄く、肌荒れになることが多いと思います。医療用具は医療技術の向上にも寄与すると思います。

2. 注射をしなくてよくなった。炎症をおこして、高熱がでて、ポートに変更しました。
3. 感染を起こしたので、カバーがあると確率は減らせるのかなと思いました。
4. 採血に関してはストレス無くて良かったとおもいます。テープでとめるのが面倒で肌が赤くなりました。
5. うちの子は肌が弱くテープかぶれがありました。又6年経ちますが挿入痕が残っています。そういう事がない、もしくは少ないカバーがあればと思います
6. テープのかぶれがひどくて本当に苦労しました。慣れない看護師さんだと、お風呂の時の処置が大変そうでした。かぶれはテープをはる位置を変えたりする程度しか解決策がなく、途方にくれていました。いい方法があったらどんなによかったかと思います。
7. 理由は定かではないが、5ヶ月目ぐらいで閉塞しているから、入れ直しました！その時の麻酔から覚めたときの子供の[1番気持ち悪かった]と言葉が今でも忘れません
8. 投薬中もそれ以外の時もテープは必ず貼ったままだったので少しでもかゆみ、肌荒れが少なくなって欲しい
9. ずりばいの時期にCVが入っていたので、ずれてしまって、抜けた事がありました。その辺り、工夫できたらいいのではと思います。
10. 固定のテープを痒くないものにしてもらえた
11. 挿入部分が常に出血してしまっていた。カテーテルがぐらついていた
12. 保護テープが汗ではがれて管が抜けそうになった。輸液が血管外に漏れた。
13. CVの中の血液が固まって閉塞してしまい、挿入しなおした
14. CVを固定している糸が何回も取れて縫い直した
15. はっきり記憶していないが、治療期間中、何らかの原因でルートを再確保することになった
16. ルートの先の点滴の管などで閉塞でアラームが鳴ったことはあるが、胸から出てるルート自体でトラブルは無かった
17. 血栓症になりCVをいれていた腕が腫れ上がった
18. 誤って抑えてしまい、引き抜けそうで痛かった
19. 足の付け根に付けた時、オムツをしているため、保護テープが剥がれやすかった。
20. 入れてすぐは挿入部分の感染、数ヶ月経過してからは一部が破損しCVの途中から交換した事も
21. 抜けない為の予防としてテープを使用していたが、肌トラブルになった。

## 質問

※ 現在までに「みんなのカテーテルカバー制作委員会」で得た情報をもとにお答えいたします。

1. うちには再発時も含めカテ菌で3回カテ入れ直しをし、一度は命に関わることがあったので、やはり、感染が気になります。娘が入院時、カバーは使用していません。情報もなかったし、カバーの発想もなかったのも、困り事を形にする発想力は素晴らしいですね。今も娘の病院では使用している方はいないようなので現状がわからないのですが、今使用されている方の感染対策は、普通の洗濯ですか？
  - 【回答】洗濯は普通にされているようですが、乾燥機は必須。アイロンをかけて滅菌を義務づけている病院もあるようです。
2. カバーの代わりにガーゼで包み、テープで身体に固定していました。巾着を使うとテープが不要になるなら良いと思いますが、テープを使わないですむのでしょうか？

- ▶ 【回答】巾着はテープで固定することもあるようですが、カテーテルカバーの場合は CV カテーテル刺入部をテープで固定するだけです。テープによる肌のトラブルが多く、カバーを自主制作される方も多いようです。
- 3. 実際に使っている方の CV カバーを見せていただいたのが一番参考になりました。使用するイメージが湧きにくいので、分かりやすい図などで説明してもらえたら良かったと思います。子どもが小さく、カバーごと引っ張ってしまうことがよくあるので、より強く固定できる方法があれば知りたいです。
  - ▶ 【回答】小さいお子さんの場合は引き抜きが心配ですよね。Mammies Hours SHOP で販売している「CV カテーテルケース」は、首紐・ベルト・第二紐で固定しますので、テープによる肌トラブル回避に加え、引き抜き対策としても効果的です。装着時のイラストもありますのでご覧ください。

## 本アンケートについて

### 趣旨・目的

- ・ 医療従事者と患児家族が安心して使える CV カテーテルカバーをメーカーさんに製品化してもらう
- ・ CV によるトラブルの現状と対策方法の情報を共有する

**調査期間** 2017 年 10 月 30 日（月）～11 月 30 日（木）

**対象者** 0 歳～18 歳までに中心静脈カテーテルを使用または使用経験のある患児・経験者・家族。

**有効回答数** 有効回答数 233 件 回収数 (239) 内 白票 (6)

### 調査方法

「輝く子どもたち」サイトにてアンケートを開始。個別にメッセージを送信し、SNS や「小児がん患者会ネットワーク」を通じて呼びかけを行い、開始から 10 日間で 185 件（77%）の回答を得た。アンケート項目設定や呼びかけには「[みんなのカテーテル制作委員会](#)」石嶋氏、岩倉氏の協力を得て実施。

### アンケート結果のサマリー

CVC 使用者の 7 割ほどが乳幼児であり、大人が思いもよらない行動をとるために起こる「事故抜去」「自己抜去」「ルートやプラグの破損」が目立ち、CVC ルートの固定・保護率は他の年齢と比べて高かった。

テープのみ使用した（75 人）とカバーおよび巾着袋のみ使用した（63 人）を比較すると、固定方法の違いでトラブル発生に大きな差は見られなかったものの、「事故抜去」「挿入部分の異常」「ルートやプラグの破損」においてカバーおよび巾着袋を使用したほうが効果を実感する人が多かった。

上記の結果から、テープよりカバーや巾着袋の使用はトラブル発生を抑えられると考えられるが、首紐に恐怖心を抱いたり事故抜去につながったりする恐れもあるため、カバー等の形状、使用時の年齢・環境には注意が必要である。